

作成日 2010年08月06日
改訂日 2014年11月01日
版 : 02

整理番号 S001178

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : NIKKOL BC-5SY
 会社名 : 日本サーファクタント工業株式会社
 住所 : 栃木県宇都宮市平出工業団地7-14
 担当部門 : 品質保証部
 電話番号 : 028-661-6121
 FAX番号 : 028-663-0426
 メールアドレス : info-msds@nikkol.co.jp
 緊急連絡先 : 日光ケミカルズ株式会社 営業部
 : 03-3662-0371
 推奨用途及び使用上の制限 :
 :

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響

GHS分類

物理化学的危険性 : 分類基準に該当しない
 健康に対する有害性 :
 急性毒性(経口) : 区分外
 急性毒性(経皮) : 分類できない
 急性毒性(吸入:ガス) : 分類対象外
 急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない
 急性毒性(吸入:粉塵、ミスト) : 分類できない
 皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分外
 呼吸器感作性 : 分類できない
 皮膚感作性 : 分類できない
 生殖細胞変異原性 : 分類できない
 発がん性 : 分類できない
 生殖毒性 : 分類できない
 特定標的臓器毒性
 (単回暴露) : 分類できない
 特定標的臓器毒性
 (反復暴露) : 分類できない
 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない
 環境に対する有害性 :
 水生環境有害性・急性 : 分類できない
 水生環境有害性・慢性 : 分類できない
 オゾン層への有害性 : 分類できない
 GHSラベル要素
 絵表示又はシンボル :

注意喚起語

:

危険有害性情報

: 分類基準に該当しない

注意書き

【予防策】

: 取扱い後はよく洗うこと。

【対応】

: 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

【保管】

: 密閉容器に保管すること。

【廃棄】

: 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

【使用上の注意】

: 安全データシート(SDS)を参照して下さい。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
 官報公示整理番号(化審法) : 有り
 官報公示整理番号(安衛法) : 有り
 成分及び含有量 :

| 成分 | 含有量(%) | 官報公示整理番号 | CAS番号 |
|---------------------------------|--------|----------|-----------|
| ポリオキシエチレンモノヘキサデシルエーテル(5E.O.単鎖長) | 100 | 7-97 | 4478-97-1 |

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水又は牛乳を飲ませる。
 気分が悪い時は医師に連絡すること。
 被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
 使ってはならない消火剤 : 情報なし
 特有の危険有害性 : 燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。関係者以外は安全な場所に退避させる。周囲の設備などに散水して冷却する。消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。
 特有の消火方法 : 消火作業では、適切は保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等の有害ガスが含まれるので、消火作業では、適切な呼吸用保護具を着用し、煙の吸入を避ける。
 消火を行なう者の保護 :

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業には、必ず保護具(手袋、眼鏡)を着用する。多量の場合、人を安全に退避させる。必要に応じた換気を確保する。
 環境に対する注意事項 : 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
 除去方法 : 少量の場合、吸着剤(土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でき拭き取る。大量の水で洗い流す。多量の場合、盛り土で困って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。
 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
 床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
 漏出物の上をむやみに歩かない。
 火花を発生させない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 技術的対策 : 取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
 注意事項 : 火気注意
 安全取扱い注意事項 : 作業場の換気を十分行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。取り扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
 保管 : 適切な保管条件 : 5°C以下の温度での冷所に保管すること。
 安全な容器包装材料 : 情報なし

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
 管理濃度 : 設定されていない
 許容濃度 : 日本産業衛生学会 : 設定されていない(2008年度版)
 ACGIH : 設定されていない(2008年度版)
 保護具 : 呼吸器の保護具 : 通常の取り扱いでは特に必要ない。
 手の保護具 : 不浸透性保護手袋
 目の保護具 : 側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)
 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣
 適切な衛生対策 : 情報なし

14. 輸送上の注意

国内規則

陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
 海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
 航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。

国際規則

航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。

国連分類・国連番号:

該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

”取り扱い及び保管上の注意”の章を参照。
 容器の破損、漏れがないことを確かめる。
 荷ぐずれ防止を確実にを行う。
 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

緊急時応急措置指針番号

該当しない

15. 適用法令

国内適用法令

化学物質排出把握管理促進法
 化審法(特定化学物質、監視化学物質)
 労働安全衛生法
 毒劇物取締法
 消防法:
 高圧ガス保安法:
 火薬類取締法:
 船舶安全法:
 航空法:
 その他の法令

:
 : 該当しない
 : 該当しない
 : 該当しない
 : 該当しない
 : 該当しない。 火災予防条例: 指定可燃物・可燃性固体類
 : 該当しない
 : 該当しない
 : 該当しない
 : 該当しない

物質登録情報:

ENCS(Japan) : 7-97
 TSCA(USA) : 無し
 EINECS(EU) : 無し
 AICS(Australia) : 無し
 DSL(Canada) : 無し
 ECL(Korea) : 無し
 IECSC(China) : 無し

16. その他の情報

問合わせ先:

会社名
 住所
 担当部門
 電話番号
 FAX番号
 メールアドレス

日本サーファクタント工業株式会社
 栃木県宇都宮市平出工業団地7-14
 品質保証部
 028-661-6121
 028-663-0426
 info-msds@nikkol.co.jp

緊急連絡先

日光ケミカルズ株式会社 営業部
 03-3662-0371

引用文献

・国際化学物質安全性カード(ICSC)コンパイラーズガイド 日本語版国立衛生試験所化学物質情報部編、化学工業日報社、1994年
 ・化粧品ハンドブック 日光ケミカルズ(株) 平成8年・界面活性剤の警告表示に関するガイドライン 日本界面活性剤工業会 平成7年

記載内容は作成時点で入手できた資料、データ等に基づいておりますが、含有量、物理化学的性質などの値は規格値ではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、使用者の責任においてご配慮をお願いします。